

FUJIEDA ROTARY CLUB

# Weekly Bulletin

例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL：054-641-3321

事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL：054-647-2300 FAX：054-647-2040

E-mail:club1972@fujieda-rotary.org



蓮の花

写真提供：山田 昭雄君

会長：青島 克郎 副会長：松葉 隆夫 幹事：仲田 廣志 副幹事：増田 國衛

## 第1772回

<ソング> 四つのテスト

<ソングリーダー> 青島 彰君



2008-2009年度 RIテーマ

夢をかたちに

李 東建

### ■ 会長報告

青島 克郎君

暑い日が続きますがおいしい物をたくさん召し上がりスタミナを付けてこれからの夏を乗り切って頂きたいと思います。

今週の日曜日にホテルセンチュリー静岡で2620地区のロータリー財団セミナーが開かれ杉浦ロータリー財団委員長と一緒に出席して参りました。

財団というと寄付金の話になりがちですが、その活動の詳細についてはご存じない方が多いかと思えます。寄付金の一部は地区に還元され各クラブが行う人道的奉仕プログラムを申請することにより地区より承認されれば補助金を受けることが出来ます。また海外のロータリークラブとの共同事業に対する資金援助を要請するマッチング・グラントもあります。当クラブでも今後検討する余地が有るのではないかと思います。

財団の寄付も有る意味ではロータリーの活動のための税金と言えるのではないのでしょうか。

税金の歴史を調べてみました。税金は大和時代から始まり「みつぎ」という名称で呼ばれていたそうです。

飛鳥時代になると大宝律令が制定され「租・庸・調」という税を課せられるようになりました。平安時代には班田授受の原則が崩れ各地に出来、名主には領主から年貢などが化せられました。

鎌倉時代には荘園に守護、地頭を置きに税の徴収権が与え座役と言う税が納められるようになりました。

室町時代には農業、商工業の発達に伴い、土地や

家屋に対しては地子、段銭、棟別銭が、関所では関銭が課せられるなど、各種の新税が現れ、安土桃山時代には豊臣秀吉が太閤検地という全国の土地調査を行い土地の質や収穫高を調べ正確な年貢が徴収されるようになりました。

徳川時代には年貢を中心とした納税方法で五公五民や四公六民と言う割合で課税され町民には酒や醤油の製造、牛馬の売買などに免許料や営業税のような税金も課せられるようになりました。

明治時代にはいると明治政府は1873年(明治6年)地租改正を実施し、土地の所有者は地価の3%にあたる額を貨幣で徴収するようになり、明治20年には所得税が導入され、所得金額300円以上の所得者に課税され22年の憲法発令で納税義務が定められました。

明治後期には登録税、ビール税、通行税、相続税等が設けられ大正時代にはいると清涼飲料税、営業収益税などの新税が設けられました。

昭和初期には戦費捻出のため物品税、入湯税、建築税、遊興飲食税、法人税、電気ガス税、広告税等多数の新税の導入や増税が実施され自己申告制度が導入され、勤労所得にたいし源泉徴収制度も採用されました。昭和25年にはアメリカのシャウ博士の勧告にも基づく税制改革で所得税累進課税、青色申告制度も導入されました。平成元年には消費税が導入され平成9年には消費税率が5%に上げられました。

そして今、高齢化により福祉財源をはじめとする税収の必要から消費税の税率アップが取りざたされております。

必要な納税は国民の義務ですからやむを得ないとしても、最近は多くの情報から税金の無駄遣いに対する疑念が深まっています。

こういった現状を考えると税金を義務として自ら進んで申告し納めると言うよりは取られると言う感覚が強く感じられます。

税金が有効的に正しく使われ気持ちよく納税できるようになるのは何時の日でしょうか。

### 幹事報告 仲田 廣志君

- 7月23日(水)は早朝例会です。蓮華寺池公園、郷土博物館前でラジオ体操 6:30より
- (財)ロータリー米山記念奨学会ニュースとしてハイライト米山101号が届いております。
- 第16回富士平原盲導犬育成チャリティゴルフ大会の参加のお願いが届いています。  
開催日9月1日(月曜日)  
富士平原ゴルフクラブ  
プレー費 一切 1名30,000円
- 岩手、宮城内陸地震義援金は14名の方に御協力いただきました。事務局よりガバナー事務局へ送金しました。御協力ありがとうございました。

### 出席報告 山田 昭雄君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
27 / 36 75%	28 / 36 77.78%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

落合君 酒向君 杉山君 松葉隆君  
飯塚君 板倉君 鈴木舜君 仲田晃君 望月志君

### スマイルBOX 山田 昭雄君

- 一年間幹事を務めることが出来ました。皆様に厚く感謝申し上げます。ありがとうございました。  
青島 彰君

スマイル累計額 44,000円

## 委員会報告

『ロータリー財団セミナー報告』



杉浦 良一君

開催日時：平成20年7月13日(日)

13:30~16:00

開催場所：ホテルセンチュリー静岡

- ・R財団と財団プログラムについて
- ・国際親善奨学生募集について
- ・補助金プログラムについて
- ・地区補助金プロジェクトの例
- ・マッチング・グラントの実施例
- ・研究グループ交換について
- ・学友会について
- ・学友会の活動
- ・寄付のお願いとロータリーカード

### パスト会長卓話



直前会長

村松 英昭君

『一年を振り返って』

一年間無事会長を務めることができました。会員の皆様の御協力のおかげです。ありがとうございました。

テーマ「仲間をふやし、親しみあおう」をかかげスタートしました。会員数36名でのスタートでした。

年度当初CLP導入による新組織に慣れるまでのとまどいがありました。また、退会希望の会員がでて慰留に努めることが度々ありました。また、事務員の退職等、多々いろいろな問題が出現しま

## 第12回冠講座

<7月15日>

『いま！動物の性医学がおもしろい』

望月家畜診療所 所長 望月 晃君

した。青島幹事の手早い行動力で、解決してやってきた一年間でした。

喜ばしい事は、上半期に3名の新入会員（大塚君、落合君、森下君）を迎えた事です。この結果、クラブに活力が生まれました。

最大の新規事業は、静岡産業大学で行った、藤枝ロータリークラブ寄付講座です。酒向奉仕プロジェクト委員長のリーダーシップによるところ大です。

当初計画段階では、会員の皆様が講師を引き受けてくれるか不安でした。いざふたをあけてみると皆様快く引き受けて下さり、素晴らしい講師陣となりました。皆様一流の講師でした。さすがロータリアンであり、その職業を代表する方々だとあらためて思った次第です。今回の冠講座は、藤枝ロータリークラブの存在を周知していただく上にも、又ロータリーとは何かを理解していただく上にも、大変良い事業だと思いました。

ロータリーとは、職業奉仕であることをあらためて再認識しました。自分の職業を一生懸命行い、家族、社員の幸福のために、そして地域に貢献することが重要な事です。地域貢献の一つに今回の冠講座があります。自分の職業、経験を学生に講義することは、会員にとっても貴重な財産になることと思います。是非皆様講師として話をして下さい。新しいことをすることが、この藤枝ロータリークラブに活力を生み出します。

前年度の踏襲ばかりしていると衰退していきま。ぜひ新しい事業に会員全員で取り組み、このクラブに活力を生みましよう。皆様は一生現役です。

最後になりますが、この冠講座をいつも手伝って下さるロジテムツムラの秘書、鈴木さんに御礼申し上げます。



(担当／青島彰)